

会社名 (株)チノー 農事開発課
連絡先 023-607-2103

技術(機械)名:園芸施設環境観測器 プラントモニタ

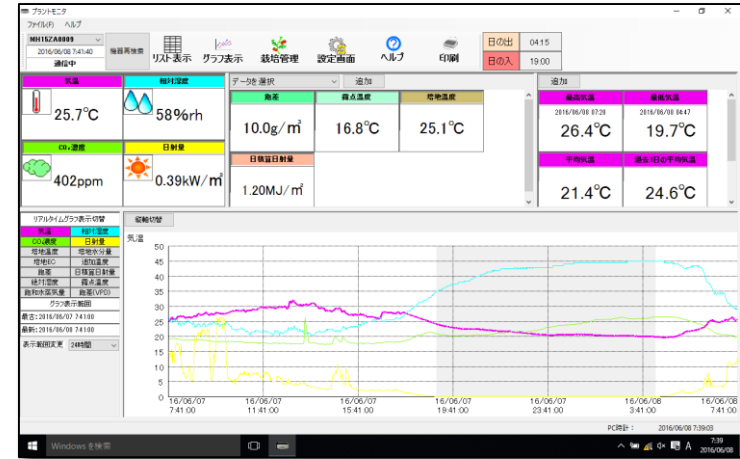
概要

- ・農業ハウス内の栽培環境(気温、湿度、飽差、CO₂濃度、日射量等)を計測し、本体にロギング
- ・さまざまな端末でモニタリングできる＝汎用
 - ①スマホやノートPCのWi-Fiで簡易モニタリングができる
 - ②有線LANで接続したPCでモニタリングできる
 - ③施設園芸の共通規格UECSでのモニタリングやデータ活用ができる(クラウド対応可能)
 - ④FTPサーバ内蔵、UDP対応でクライアント機能のあるPLC等でデータ活用できる

効果

- ・農業ハウス環境計測器の機能(環境の見える化)により、増収・作物品質向上に直結する環境把握ができる
- ・UECSやFTP、UDP等オープンな通信手順でモニタリングやデータ取得が可能のため、弊社以外のシステムにも接続できるので、データの活用用途が広がる
- ・本体に約10年間分のデータが蓄積できるため クラウドサービスだけでは困難な長期データの保管や1分間隔などの詳細データの運用ができる

写真、図表等



【図:PCアプリケーション モニタリング画面】

リスト表示

日時	気温	相対湿度	飽差	CO ₂ 濃度	日射量
2018/07/04 09:00	28.2	79	5.8	425	0.11
2018/07/04 09:01	28.1	79	5.7	427	0.11
2018/07/04 09:02	28.1	78	6.0	426	0.11
2018/07/04 09:03	28.1	79	5.8	426	0.11
2018/07/04 09:04	28.3	79	5.8	421	0.11
2018/07/04 09:05	28.4	79	5.9	403	0.11
2018/07/04 09:06	28.6	79	5.9	408	0.10
2018/07/04 09:07	28.8	79	6.0	421	0.09
2018/07/04 09:08	28.9	78	6.3	424	0.08
2018/07/04 09:09	28.9	78	6.3	426	0.07
2018/07/04 09:10	29.0	78	6.3	425	0.07
2018/07/04 09:11	29.1	78	6.4	430	0.07

【図:1分間隔のロギングデータ(例)】

※今回応募技術の原型となる既存プラントモニタのカタログを参考資料として添付いたします。